

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	Oneness α
住 所	名古屋市市中村区並木 1－9
電話番号	052-890-9555

事業所番号	2310101965
管理者名	肆矢祐介
対象年度	令和7年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
150点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Onenessa
住 所	名古屋市市中村区並木1-9
電話番号	0 5 2 - 8 9 0 - 9 5 5 5

事業所番号	2310101965
管理者名	肆矢祐介
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所：株式会社AlphaA、株式会社OnenessArt 実施日程：通年 実施した生産活動・施設外就労の概要：デザインアセット管理、バックアップデータ管理、デジタルアートワークショップ等 利用者数 等：45名	<活動の様子> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント
<目的> これらの活動（デザインアセット管理、バックアップデータ管理、デジタルアートワークショップ）の目的は、複数の観点から捉えることができます。 1. 地域産業の活性化：地域企業（株式会社OnenessArtなど）との協力により、障害者が参加可能な生産活動を通じて地域経済を活性化することが目的の一つです。これらの活動を通して、新たな労働力を確保し、地域企業の競争力を向上させることが期待されます。 2. 障害者の社会参加の促進：デジタルプロトタイピングや3Dデザインなどの先端技術を活用した活動を通して、障害者が社会と接点を持ち、自信を高める機会を提供することが目的です。特に、デジタルアートワークショップは、創造的な活動を通じて社会とのつながりを深める良い機会となるでしょう。 3. 地域内での多様性の促進：障害者の活躍の場を広げることで、地域コミュニティ内での多様性を推進し、共生社会の形成を目指すことが目的です。 4. 対象者（利用者）にとってのメリット**： スキルの習得と成長：デザインアセット管理やバックアップデータ管理、デジタルアートワークショップなどの活動を通じて、実践的なスキルを身につけることが可能です。 社会的自立の促進：地域企業での施設外就労を通して収入を得ることで、経済的な自立を目指すだけでなく、社会との接点を増やし、自信を高めることができます。 働きがいの実感：施設外就労を通して、地域や企業に貢献している実感をすることで、自己肯定感を向上させることが期待されます。 職業選択の幅の拡大：実践的な体験を通じて自分の適性や得意分野を理解し、今後のキャリア形成に役立てることができます。 5. 地域企業（連携先）にとってのメリット**： 労働力不足の解消：地域企業が抱える労働力不足を補い、生産効率を向上させることで、地域経済の持続可能性を確保します。 新しいビジネスモデルの創出：障害者が活用できる分野の仕事を切り出し、施設外就労を活用することで、地域全体で新しい働き方や協業の仕組みを確立します。 地域のイメージ向上：障害者支援に積極的に取り組む企業や地域の姿勢が、地域全体のイメージ向上につながり、他地域からの評価や関心を高めます。 これらの目的を達成するためには、業務内容における障害者ごとのスキルや適性に合った業務割り振りの最適化や、現場での継続的なサポート体制の強化が重要になります。	
<成果> 利用者のスキル向上と自信の獲得。デジタルプロトタイピングや3Dデザイン、試作プリンティング、データ入力といった活動を通して、実践的なスキルを習得したと考えられます。動画編集技術研修を通じて、動画編集スキルも向上した。 施設外就労を通じた社会参加の促進。地域企業での作業を通して、社会との接点を持ち、社会参加を促進できた。 地域企業の生産性向上への貢献。デザインアセット管理、バックアップデータ管理、デジタルアートワークショップ、といった業務を通じて、地域企業の生産性向上に貢献できたと考えられます。特に、ICTを活用したデータ登録業務などは、地域企業とのつながりを実現する上で有効です。 地域における障害者の活躍の場の拡大。企業内の働く場づくりに貢献することで、地域における障害者の活躍の場を広げることができたと考えられます。	

連携先の企業等の意見または評価			
「今回の連携を通じて、障害を持つ方々の新しい働き方を知ることができました。特に、デザインアセット管理やバックアップデータ管理においては、丁寧な仕事ぶりで会社の役に立ち、大変助かっています。デジタルアートワークショップでは、創造性豊かな作品が生まれ、一同感銘を受けました」。 今後の連携強化に向けた課題 「もっとスムーズに仕事を進めるために、個々のスキルに合わせた仕事の割り振りやサポートの方法を考える必要があります。デザインアセット管理やバックアップデータ管理においては、より専門的な知識やスキルが必要となる場合もあるため、継続的な研修の機会を設けることが重要だと感じています。また、デジタルアートワークショップについては、より多くの方に参加していただけるよう、広報活動を強化していく必要があると考えています。」			
連携先企業名	株式会社OnenessArt	担当者名	川上 裕幹

就労継続支援 A 型事業所 Oneness α

「VII 利用者の知識・能力向上」要件達成に向けた取組報告書

令和 7 年 3 月 31 日

就労継続支援 A 型事業所 Oneness α

管理責任者 肆矢 祐介

1. はじめに

本事業所・Oneness α では、厚生労働省が定める就労継続支援 A 型スコア表において、新設された「VII 利用者の知識・能力向上」の要件を満たすことを大きな目標としています。利用者それぞれの特性や希望に合わせた研修・学習機会を整え、業務を通じて知識と能力を高めることで、長期的な就労継続につなげられるよう取り組んでいます。

2. 取組の概要

1. 施設外就労先との連携研修の実施

- 目的
外部企業や関連事業所との連携を通じ、実践的な研修や講習を行うことで職業意識やスキルアップを促進する。
- 実施内容
 - 企業担当者による講話や指導
 - 実際の作業現場における OJT (On-the-Job Training)
 - 振り返りミーティングによる学習定着と課題抽出
- 期待される効果
 - 必要とされるスキルの習得やコミュニケーション力の向上
 - 実践的な学習を通じた自己肯定感や仕事への意欲の醸成

2. 独自研修の実施

- 目的
就 A スタッフが研修計画を理解し、利用者一人ひとりに最適化した独自のプログラムを実施することで、より専門的かつきめ細やかな支援を行う。
- 実施内容
 - 年間研修計画に基づく座学や勉強会（専門知識、労働法規、ビジネスマナーなど）
 - 事業所内でのグループワークやロールプレイ、ケーススタディ
 - 資格取得支援（学習サポートや模擬試験の実施など）
- 期待される効果
 - 利用者の興味・適性に合った研修機会の提供
 - チームワーク・コミュニケーション力の強化

- 専門知識や資格取得による就労の選択肢拡大

3. 日常的な姿勢や感覚の共有

- 目的
毎週の会議や日常業務を通じ、仕事に対する姿勢を共有するとともに、利用者個々の学びと成長を継続的にサポートする。
- 実施内容
 - 毎週の全体会議での進捗共有や意見交換
 - 個別面談や作業日報を活用したフィードバック
 - 事業所全体での目標設定と達成度のモニタリング
- 期待される効果
 - 利用者のモチベーション維持と主体的な課題解決力の育成
 - 日々の成長を適切に評価し、自信につなげる
 - 職員間の連携強化により、支援体制をさらに充実化

3. 実施スケジュール

実施スケジュールに関しては Oneness 委員会研修計画書をご参照ください。

4. 評価および今後の課題

- 評価方法
 - 各研修・勉強会後のアンケートやヒアリングでの理解度や満足度確認（利用者のアンケート回答も実施し、客観的な視点での評価を収集）
 - 毎週のミーティングでの進捗確認および意見交換
 - 作業日報や評価シートを用い、利用者の取り組み状況を客観的に把握
- 今後の課題
 - 利用者の多様なニーズに合わせた研修内容のさらなるカスタマイズ
 - 施設外就労先とのスケジュール調整や連携強化
 - 「姿勢」「意欲」「コミュニケーション力」といった定量化しにくい要素の継続的なフォローアップ方法の確立

5. 結び

Oneness α では、新設された「VII 利用者の知識・能力向上」の要件を満たすため、上記の研修や支援活動を日常的に実践しています。利用者が自信を持って働きながら着実にスキルアップし、より豊かな社会参加を実現できるよう、スタッフ一同が連携し支援を続けています。今後も研修計画の充実や新たな工夫を重ね、利用者のさらなる成長と就労継続をバックアップしてまいります。

以上